

# やまなし県議会だより

## 九月臨時会の概要

県議会は九月二日、臨時会を開き、議長辞職願を提出していた石井脩徳氏(自民党誠心会)の辞職を許可。続いて、議長選挙を行い、投票の結果、鈴木幹夫氏(自民党誠心会、甲州市選挙区)を第二百二十四代議長に選出しました。

## 九月定例会の概要

県議会は、平成二十八年九月定例会を九月二十一日から十月六日までの十六日間の日程で開きました。

開会日の提案理由説明で後藤斎知事は、全国知事会の先進政策創造会議において、「県及び二十七全市町村協働による産前産後の母親を支える体制構築」が人口減少対策分野の全国第一位となるなど、三施策が本県初となる優秀政策を受賞したこと

を報告し、今後、これらを確実に各分野の成果につなげていくとともに、引き続き、常に県民のニーズに耳を傾けながら、明るく元気な山梨づくりに向けて、果敢に挑戦していきたいと述べられました。

また、県林業公社の廃止について、公社が金融機関から借り入れた資金を、県が一括償還する財源に第三セクター等改革推進債を活用するなど、県民負担の軽減に最大限努力していく決意を示されました。

知事の説明を受けて、九月二十七日から三十日までの四日間、代表・一般質問を行いました。

## 議会基本条例の制定に向け設置された条例案検討委員会

### 議会基本条例の制定を目指す

私は去る九月臨時会におきまして、議員各位の御推挙をいただき、山梨県議会第

二百二十四代議長に就任いたしました。このことは、身に余る光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

### 鈴木幹夫議長 略歴

山梨県立農業大学校卒業  
塩山市議会議員、平成十七年八月  
県議会議員初当選、以来四期連続  
当選。  
県議会教育厚生委員長、同農政商  
工観光委員長、同総務委員長、県  
監査委員を歴任。  
甲州市塩山下塩後六二七  
六十五歳

### 第二百二十四代 山梨県議会議長

## 鈴木幹夫

平成二十八年二月定例会閉会日の流会を契機に、我々は初心に立ち返り、議員としていかにあるべきかを改めて問い直しました。

私は、二元代表制のもとにあるべき県議会の姿を広く明らかにするとともに、その思いを議員が共有し、議員活動の礎とするために、議会基本条例の制定を目指してまいります。

もとより、浅学非才の身ではありますが、全身全霊を傾け、議長の職責を果たしてまいり所存ですので、県民の皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



就任挨拶をする鈴木幹夫議長



日川高等学校卒  
平成二十三年四月県議会議員初当選、以来二期連続当選。  
県議会農政産業観光副委員長、同総務副委員長、県監査委員を歴任。  
山梨市小原西六二七一  
六十六歳

### 高木晴雄副議長 略歴

九月定例会では、副議長に高木晴雄氏(リベラルやまなし、山梨市選挙区)を選出しました。

定例会最終日の十月六日には、総額七十六億六千七百五十五万五千円の一般会計補正予算案や県議会議員報酬を一定期間減額する措置を講ずるための条例案など二十案件を可決、同意しました。

代表質問には自民党誠心会の皆川巖氏、望月勝氏、チームやまなしの卯月政人氏、リベラルやまなしの飯島修氏が登壇。一般質問には、山田一功、塩澤浩、桜本広樹、永井学、杉山肇(いずれも自民党誠心会)、早川浩、水岸富美男(いずれもチームやまなし)、山田七穂(リベラルやまなし)、安本美紀(公明党)、小越智子(日本共産党)の各氏が登壇しました。(詳細は二〇四面)

十月三日には、総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会を開き、付託議案や所管事項の審査を行いました。

## 県議会トピックス

### リニア環境未来都市整備方針に関する中間提言書の提出

中央リニア新幹線建設促進山梨県議会議員連盟では、平成39年のリニア中央新幹線開業を見据え、駅周辺・近郊の整備等に関する諸課題に対応していくため、リニア環境未来都市整備方針の策定に向けた中間提言書を取りまとめ、9月21日に知事に提出しました。

知事は、「人々が希望や期待を持てる整備方針となるよう、提言の趣旨を生かして対応していきたい」と決意を述べられました。





# 9月定例会本会議 の質問と答弁から

## 県政指針

### 地方創生の推進

**問** 人口減少対策に向けた取り組みは。

**答** 人口減少に歯止めをかけるため、総合戦略に位置づけた施策について、着実に事業を実施するとともに、国の交付金等を活用し、取り組みを加速させている。また、PDCAサイクルを活用し、戦略の策定、事業の実施、その成果の検証、検証結果を踏まえた改善を行い、より実

## 世界遺産

### 世界遺産富士山の保存管理

**問** 次回の保全状況報告書の提出に向けた取り組みは。

**答** 次回の提出に向けては、先般の世界遺産委員会での評価された本年一月提出の保全状況報告書に記載した、巡礼路の特定や来訪者管理戦略、情報提供戦略などの施策を着実に実施していくことが何よりも重要である。特に、望ましい富士登山

効性の高い戦略としていくこととしている。  
このうち、成果の検証については、やまなし未来会議において、昨年度に実施した事業の成果による達成状況を報告し、意見を聞いた。

今後、やまなし未来会議等からの意見や提言を踏まえて、現在実施中の事業の改善や明年度事業の立案に確実につなげることにようり、総合戦略をさらに充実させ、オール山梨で人口減少対策をより一層推進していく。

## リニア

### リニア環境未来都市における定住促進

**問** どのように取り組んでいくのか。

**答** リニア通勤者や二地域居住者などの移住定住の促進を図るため、官民が連携し、美しい町並み景観や魅力的な居住環境



新型リニア新幹線L0系車両

の整備を促進するとともに、駅周辺がレストランや観光交流施設、緑地などとして、移住者にも楽しく利用できる場となるよう、検討を進めている。  
また、地元市町と連携し、恵まれた子育て環境など本県の魅力等を発信するとともに、リニア通勤者の利便性向上に向け、バス交通の拡充を検討するほか、本県に停車するリニアの増便をJR東海に要請するなど、定住促進に積極的に取り組んでいく。

## 警察

### 高齢者の運転免許の自主返納制度の活用促進のための取り組み

**問** どのように周知し、活用を促進を図っているのか。

**答** 高齢運転者の交通事故防止対策として、高齢者講習会等において、加齢に伴う身体機能の低下を自覚して運転を断念するよう、交通指導を行っている。

## 福祉保健

### 介護人材確保のための職場体験への手当支給制度の導入

**問** 体験に伴う労働の対価を支給してはどうか。

**答** 福祉・介護分野では、人材確保と職場定着が課題となっているため、職場体験事業を実施している。本事業では、職場体験先の事業者に対し、参加者一人当たり一日五千円を受け入れ協力金として助成しているが、事業者から参加者に再支給することも可能である。

## スポーツ

### 競技力の向上

**問** どのように取り組んでいるのか。

**答** 各競技団体が行う選手強化のための合宿や交流試合に要する経費を助成しているほか、国民体育大会等での活躍が見込まれる実業団などのチームを強化指定し、重点的な支援を行っている。

**答** 防犯対策のための財源補助については、現在、厚生労働省で検討が行われており、この結果等を踏まえ、必要な対策を検討していく。

## 子育て支援策

**問** 利用者支援事業による子育て支援隊の活用は。

**答** 利用者支援事業は、市町村が行う法定事業であり、子育てに関する情報提供や相談・助言等を



子育て支援イベントで活躍するスペシャルコーディネーターのキティちゃん

## 社会保障

### 福祉施設の防犯対策への財源補助と、豪雨時の避難誘導対策は。

県では、本年八月、福祉施設等に対し、立地場所における災害危険度の把握や避難マニュアルの再点検、避難訓練の実施等の防犯対策を徹底するよう、改めて注意を喚起したところであり、今後も監査指導の機会等を捉え、指導・助言を行っていく。



# 観光



## スポーツコミッションによる観光振興

**問** スポーツコミッションの早期設立と体制整備への考えは。

**答** 現在、多くの自治体においてスポーツコミッションの設置が進み、東京オリンピック・パラリンピックに向け、この傾

向は加速していくものと考えられる。

県としても、コミッションが持つ合宿誘致やスポーツツーリズムの推進機能、生涯スポーツの振興機能などを研究し、コミッションのあり方を検討していく。また、体制整備については、市町村や関係団体との連携のあり方やスポーツボランティアの必要性なども含め、先進自治体の状況も参考にしながら、調査

## 新エネルギー



### 水素エネルギー社会実現に向けた取り組み

**問** どのような取り組みでいくのか。

**答** 甲府市内に水素ステーションを誘致するとともに、燃料電池自動

研究を進めていく。  
※スポーツコミッション スポーツイベントの招聘や企画を通じて地域経済の活性化に取り組む組織

# 農業



## 富士・東部地域の花き振興

**問** ブランド化や需要拡大への取り組みは。

**答** ブランド力の強化に向け、消費者ニーズに対応したピラミッドア



ピラミッドアジサイの栽培

を紹介するガイドブックを作成し、地産訪消につながるための情報発信を行うとともに、東京などの大消費地において、生産者が行う販売促進活動に対し支援していく。

# 林業



## 森林資源の活用と林業の振興

**問** どのような取り組みでいくのか。



県産材を利用した富士クラフトパークエントランス棟

**答** 県有施設の木造・木質化については、富士川クラフトパークなど、施設の新築、改築時に木材の利用を進めており、引き続き積極的に取り組んでいく。木質バイオマスの利活用の推進については、未利用材の搬出コスト削減に必要な路網整備等を行うとともに、地域協議会の設立支援など、安定供給に向けた体制整備に努め、その運営に積極的に協力している。

# 公社



## 林業公社廃止に伴う土地所有者との変更契約

**問** 分収林の県への承継手続きをどのように行うのか。

**答** 分収林の県への承継は、民事再生手続において裁判所から認可される再生計画に基づき、再生計画遂行に関する協定を林業公社と締結することにより行うこととしている。

に開催し普及啓発に努めており、引き続き、水素エネルギー社会の実現に向けた取り組みを推進していく。

# 防災



## 水害対策

**問** 洪水ハザードマップ改訂に向けた取り組みは。

**答** 洪水ハザードマップは、県内で対象となる八市

権である伐採時期等の契約内容は承継されない。このため、変更契約が未済の分収林では、当初公社と締結した契約の満期を迎えても伐採ができないなど、県、土地所有者双方に不利益が生じることから、引き続き丁寧な説明を行い、変更契約の締結を進めていく。

五町において策定済みであるが、水防法改正により、浸水想定区域図について、河川における洪水の対象を、想定し得る最大規模の降雨に見直す必要が生じたため、国や県では、見直し作業を進めている。今後、市や町では、見直された浸水想定区域図をもとにハザードマップの改訂を行うが、この中には、住民の的確な避難行動に直結する情報が記載されることとなる。県では、地域の水害特性を踏まえたものとなるよう指導・助言を行うとともに、作成や周知に要する費用への助成を国に働きかけるなど、市や町の取り組みを支援していく。

### 決算特別委員会を設置

平成二十七年山梨県一般会計と特別会計の歳入歳出決算の内容及び平成二十七年山梨県公営企業会計(企業局の電気事業、温泉事業、地域振興事業)の決算内容を審査する「決算特別委員会」が、九月三十日の本会議で設置されました。同委員会は、議会閉会後も継続して各会計の審査を行い、その結果を次の定例会に報告する予定です。委員会構成は次のとおりです。

- 委員長 望月 勝
- 副委員長 久保田松幸
- 委員 中村 正則
- 石井 脩徳
- 皆川 巖
- 桜本 広樹
- 山田 一功
- 猪股 尚彦
- 遠藤 浩
- 渡辺 淳也
- 奥山 弘昌
- 早川 浩
- 宮本 秀憲
- 佐藤 茂樹
- 清水喜美男
- 山田 七穂
- 小越 智子

### 議会基本条例案検討委員会を設置

九月二十一日の議会改革検討協議会において、二元代表制の一翼を担う議会として、そのあり方を広く県民に宣言し、議会改革の柱として位置づけ、議会の役割などを再定義する議会基本条例の制定に取り組むことが決定され、調査・研究・検討を行う、「条例案検討委員会」が設置されました。十月六日、第一回の検討委員会が開かれ、今後の進め方について確認しました。十二月には、県民の皆様から意見を募り、平成二十九年二月定例会への条例案提出に向けて検討を進めていく予定です。委員会構成は次のとおりです。

- 委員長 前島 茂松
- 副委員長 上田 仁
- 委員 渡辺 英機
- 河西 敏郎
- 塩澤 浩
- 永井 学
- 杉山 肇
- 早川 浩
- 山田 七穂
- 小越 智子



# 代表質問



自民党誠心会  
皆川 巖

- 地方創生の推進
- 発達障害等に対する総合的な基本構想の策定
- 林業公社の廃止
- イオンモール甲府昭和の増床と甲府市中心市街地の活性化
- 働き方改革の推進
- 県産農産物等の海外販売・情報発信拠点の活用及びタイ、インドネシア、マレーシアでのトップセールス
- 農業の六次産業化の推進
- 甲府周辺地域の整備
- 学力向上への取り組み
- 甲府工業高校の専攻科
- 屋内五十メートルフールの整備
- 高齢者交通事故の防止対策



自民党誠心会  
望月 勝

- 世界遺産富士山の保存管理
- 中部横断自動車道・増穂以南の整備状況
- 東海・中京 関西地域からの企業誘致
- 地域特有の観光資源による観光振興
- 第十次山梨県職業能力開発計画の策定
- 県立峡南高等技術専門校自動車整備科の定員拡充



チームやまなし  
卯月 政人

- 「生涯活躍のまち」構想の推進による移住促進
- 総合技術場の整備
- 自動車税徴収率向上に向けての取り組み
- 生活困窮者対策
- 森林資源の活用と林業の振興
- 県内中小企業の海外展開への支援
- 観光資源を活用した全県周遊観

- 光の促進
- 県産農産物のブランド力と国内販売対策の強化
- 災害に強い道路の整備
- 甲府工業高校専攻科の設置に向けた今後の取り組み
- 特別支援学校の施設整備
- 青少年の安全・安心なインターネットの利用環境整備



リベラルやまなし  
飯島 修

- 県民を巻き込んだ人口減少対策の推進
- リニア環境未来都市における定住促進
- 介護予防への取り組み
- 障害者施設の防犯対策等
- 児童心理治療施設の整備
- 子宮頸がん予防の取り組み



山田 一功  
(自民党誠心会)

- 県産FSC認証材の販売拡大
- 林業公社廃止に伴う土地所有者との変更契約
- 消防団員の確保対策
- 甲斐市内における県管理橋梁の耐震補強



早川 浩  
(チームやまなし)

- 東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ日本大会の事前合宿誘致及びホストタウン登録
- 東京オリンピックやラグビーワールドカップに向けた施設整備
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化への取り組み
- スポーツコミッションによる観光振興
- 災害に強い基盤整備
- 消防分野での女性の活躍
- 福祉避難所
- 世界遺産富士山に関する取り組み



塩澤 浩  
(自民党誠心会)

- 市町村における消費生活相談体制の整備に向けた支援
- 妊婦の健康支援
- 緑地面積率等の緩和を活用した工業用地の確保
- 農産物などの「食」をテーマとした観光情報の発信
- 水田の有効活用に向けた転作の推進
- 都市計画マスタープランの改定
- 競技力の向上
- 女性警察官の活躍に向けた県警察の取り組み



水岸 富美男  
(チームやまなし)

- 自転車における交通安全の取り組み
- 水素エネルギー社会実現に向けた取り組み
- 外国人観光客の受入環境の整備
- 県立学校施設への木材利用の推進
- 富士・東部地域における小児救急医療体制
- 工場立地法に基づく緑地面積率等の緩和
- 「道の駅」の農産物直売所に関する支援
- 県道富士吉田西桂線の整備



桜本 広樹  
(自民党誠心会)

- ふるさと納税の促進に向けた取り組み
- ひとり親世帯の働き場所の確保・移住促進
- リニア環境未来都市への総合技術場の整備
- リニア中央幹線整備に伴う南アルプス市沿線地域における諸課題
- 介護人材確保のための職場体験への手当支給制度の導入
- 南アルプス市への県民の森保有施設の譲渡
- 南アルプス市地域の農業振興
- 県道葦崎南アルプス富士川線小笠原橋とその周辺整備



永井 学  
(自民党誠心会)

- 子育て支援策
- スマホアプリ「FUJISAN AC TIVITIES」
- ビロリ菌の除菌治療費の助成事業
- バス交通ネットワークの再編



山田 七穂  
(リベラルやまなし)

- 東京圏の子育て世帯の移住の促進
- 地域住民の日常生活を支えるバス交通
- 子どものいる生活困窮世帯への支援
- 児童虐待防止対策
- 高校生の県議会の傍聴
- 高齢者の運転免許の自主返納制度の活用促進のための取り組み
- 県道北原下条南割線の整備



杉山 肇  
(自民党誠心会)

- 南都留合同庁舎の移転
- リニア見学センターの利用促進
- 障害者の就労支援
- 県立産業技術短期大学校における産業界人材の育成
- 富士・東部地域の花き振興
- 国道百三十九号都留バイパス
- 子どもの体力向上



安本 美紀  
(公明党)

- 水害対策
- 災害廃棄物処理計画の策定
- 食品ロス削減に向けた取り組み
- 農作業事故防止対策の強化
- 県営住宅貫川団地の再整備
- 学校におけるがん教育の推進
- 運転適性相談窓口の態勢強化



小越 智子  
(日本共産党)

- 知事の政治姿勢
- こどもの貧困
- 社会保障
- 雇用問題
- 事業用太陽光パネル設置の規制
- 公共事業の在り方

**議員報酬を一定期間減額**

平成二十八年二月定例会の議会運営に鑑み、議員報酬を一定期間減額する措置を講ずるため、「山梨県議会議員の議員報酬の特例に関する条例」を制定した。

**【条例の内容】**

議員報酬については、平成二十八年十一月二日から平成二十八年十二月三十一日まで、減額することとし、減額率を次のとおりとする。

（減額率）

- ・平成二十八年三月二十三日に議長であった者
- ・議長に係る議員報酬の月額百分の四十
- ・平成二十八年三月二十三日に副議長であった者
- ・副議長に係る議員報酬の月額百分の二十
- ・平成二十八年三月二十三日に議員であった者

議員に係る議員報酬の月額の百分の八

## 平成二十八年二月山梨県議会定例会閉会日の流会に関する調査特別委員会

### 委員長 土橋 亨

本委員会は、六月定例会開会日の六月六日に設置されて以来、三カ月余りの間に十四回に及び委員会を開催する中で、書面による調査、証人尋問、参考人からの意見聴取などを実施し、広範にわたる調査を行った。

#### 【調査の概要】

流会となった平成二十八年三月二十三日時点で在任していた議員及び議会事務局職員、合計四十二人に対し、閉会日当日の行動などに関する書面調査を実施し、その調査結果を受け、委員会内での意見交換を行った。

また、六月定例会閉会日の六月二十日には、本委員会に地方自治法第百条に基づく調査権が委任され、当時の議長を初め五人の議員、当時の議会事務局職員四人の合計九人に証人として

#### 【流会の原因】

責任ある立場の当時の議長、副議長及び議会事務局長がそれぞれの責任を果たさなかったこと。特に、議長には流会を回避する努力が見られなかったこと。

#### 【流会を繰り返さないための今後の議会のあり方】

議会運営の透明性の確保や議会の果たすべき役割を明確にするための議会基本条例制定に向けて取り組みを進める必要がある。議会が県民に期待される機能を発揮し、議員それぞれが自覚と責任を持ってこれからの議会運営に携わっていく必要がある。